

高齢者胃癌における治療成績に関するカルテ調査 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2018年7月25日 ～ 2030年12月31日

〔研究課題〕

高齢者胃癌における集学的治療成績に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

高齢者患者さまの集学的治療内容（術式、術前後の補助化学療法、栄養管理など）や治療成績（術後合併症や長期予後）を非高齢者と比較し、高齢者での至適治療法を探索します。

〔研究意義〕

高齢者では身体・臓器機能の生理的低下や併存疾患が高頻度で見られ、術後合併症や後遺症によりがん治療が奏効しても他病死により長期生存が得られない場合も多くあります。本研究の目的が達成されれば、将来、高齢の胃癌患者さまに最適な治療を発信、提供できることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2000年1月から2017年12月に帝京大学ちば総合医療センター外科において初回治療を施行した胃癌患者さまを対象として、血液検査所見、画像検査所見、術式、病理組織学的所見、転帰等を集計し、高齢者群（75歳以上）と非高齢者群（75歳未満）で比較検討を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター外科

研究代表者： 外科 准教授 首藤潔彦

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は秘匿化し厳重に管理します。研究の成果を発表したり、それをもとに特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

対象となる患者さまで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 外科 准教授 首藤潔彦

研究分担者： 外科 教授 幸田圭史、 講師 森 幹人

住 所：千葉県市原市姉崎 3426-3 帝京大学ちば総合医療センター 外科

T E L : 0436-62-1211 (代表) [内線 2750]